

ほんべつ 議会だより

No.60

平成24年2月1日発行



つぎはとれるかな！

1月11日 新春こども将棋・百人一首大会

町民懇談会を 開催します

多くの町民の方の参加をお待ちしています。
詳しいことについては議会事務局まで
お問い合わせ下さい。(TEL 2 2 - 8 1 2 3)

<日 程>

日	時	場 所
2月14日(火)	午後6時30分～2時間程度	体育館 中競技室 勇足地区公民館
2月15日(水)	午後6時30分～2時間程度	健康管理センター 仙美里地区公民館
2月16日(木)	午後1時30分～2時間程度 午後6時30分～2時間程度	美里別地区公民館 世代交流館(南4丁目)



第4回定例会

平成23年度一般会計他8会計の補正予算等を可決
 平成23年第4回定例会は12月5日に開会し、一般質問のほか一般会計他8会計の補正予算、職員の給与に関する条例の一部改正などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例改正

職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の給与勧告に伴い、給与の減額改定が生じたので条例改正を行いました。
 この給与改定により、40歳代から50歳代を中心に0.23%の引下げとなります。

営農用水道条例の一部改正

平成16年料金改定の水道事業審議会答申の中に、4年ごとの見直しと、上水道との料金体系一本化が望ましいとの付帯意見がありました。この付帯意見を踏まえて、平成20年に引き続き今年4月から2回目の増額改定となります。

基本料金、超過料金の改正は次のとおりです。

基本料金
 業務用
 3,302円↓3,695円
 臨時用
 361円↓458円

超過料金 (1㎡あたり)
 家事用(1) 163円↓201円
 家事用(2) 163円↓201円
 家事・営農兼用
 163円↓201円

ただし7㎡を超える量については現行どおり。
 業務用 203円↓243円

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

神社への奉納金の件で、議長から身の処し方について議員報酬30%削減の申し出があり、審議の結果可決しました。

・月額報酬
 292,000円↓
 ・期間 平成24年1月から
 204,400円

平成23年傍聴者数

	男	女	計
第1回定例会	33	22	55
(内ナイター議会)	(19)	(17)	(36)
第2回定例会	9	6	15
第3回定例会	19	0	19
第4回定例会	16	9	25
小計	77	37	114
第1回臨時会	2	0	2
第2回臨時会	1	1	2
第3回臨時会	4	0	4
小計	7	1	8
議会運営委員会	3	0	3
総務常任委員会	3	0	3
産業厚生常任委員会	2	1	3
小計	8	1	9
予算審査特別委員会	1	0	1
決算審査特別委員会	3	0	3
議員協議会	3	0	3
町民懇談会	64	17	81
小計	71	17	88
合計	163	56	219

一般会計補正

3月の3ヶ月分
 (3カ月の削減額26万3千円)

障がい者サポート

地域包括ケア連携体制整備事業、5,389千円の補正についての質疑。

問 障がい者のケアに必要な情報を共有するためのネットワークシステム設置委託料ということですが、どのような形で利用できるようになるのか。

答 これまで障がいに関する相談は、ライフステージに応じてそれぞれの機能が対応しているため、

地方バス路線運行維持対策

帯広・陸別線の運行に係る赤字額補てんに伴う沿線自治体の補助金が増額になったことへの質疑。

問 帯広・陸別線運行の負担が増加することだが、乗車数は前年と比較してどのような状況か。

相談者や家族は、その都度最初から説明しなければなりませんでしたが、ケアセンター、ことばの教室、健康管理センターなどがネットワークで情報共有することにより、相談者のライフステージに応じた一貫した支援体制を進めるものです。

平成23年度 各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主 な 内 容
一 般 会 計	(2,684万円) 65億2,444万2千円	減額補正 職員給与費等 鳥獣被害緊急対策事業補助金 地方道路整備事業 橋梁長寿命化修繕計画策定委託料 増額補正 個性あるふるさとづくり基金積立 地域包括ケア連携体制整備事業委託
特 別 会 計	国民健康保険 (681万1千円) 13億8,984万4千円	退職被保険者等分療養給付費 退職被保険者等分療養費 退職被保険者等分高額療養費
	後期高齢者医療 (△108万9千円) 1億525万1千円	電算システム保守委託料 北海道後期高齢者医療連合負担金
	介護保険 (100万3千円) 7億2,219万4千円	包括的支援事業人件費
	介護サービス事業 (△414万7千円) 2億7,102万円	施設介護サービス事業人件費 居宅介護支援事業人件費
	簡易水道 (△317万4千円) 9,269万9千円	職員給与費等 勇足浄水場他工事請負費 量水器
	公共下水道 (△1,260万4千円) 4億8,076万4千円	終末処理場機器更新工事請負費 町債償還利子
水道事業会計 (△780万1千円) 2億2,227万2千円	浄水場水道施設監視装置更新工事請負費 量水器購入費	
病院事業会計 (△6,512万7千円) 14億8,856万2千円	職員給与費等 器械備品購入費	

答 前年度の平均乗車密度が5.1人から、今回4.9人で、5人を割ったことにより、国の補助金が減少し本町の負担が増加しました。



帯広・陸別線バス

答 医師2名の退職により4名で週に5〜6回の当直を行っておりましたが、日常の診療にも影響がでてきたことから、6月以降、釧路、帯広の医師2名に月4〜5回の当直のサポートをお願いしています。謝礼について3月まで、

問 常勤医師の当直軽減により、常勤医師の当直負担が重いと思われ、今回の当直医師の謝礼金の内容はどのようなものか。

常勤医師の当直軽減

南三陸町福興市に派遣

1月27日から30日までの4日間
南三陸町での福興市支援に
黒山久男議員、阿保静夫議員
を派遣



町国保病院

延べ46回、437万円の支出見込みです。この補正により常勤医師の当直負担の軽減を図るものです。

選挙管理委員会委員に
木下英子氏 (柳町)
小林信雄氏 (北2丁目)
中川祐一氏 (北5丁目)
十河 透氏 (勇足東3)

選挙管理委員会補充員に
天池二郎氏 (木札内)
斎藤一成氏 (チエトイ2)
細野真由美氏 (北1丁目)
河合篤史氏 (弥生町)

に決定しました。

教育委員会委員に

山下博志氏

(勇足238番地10)

の任命に同意しました。

一般質問

6名の議員から13問



行政

名誉町民条例見直し内容は

答 方向性を示す努力をします



小笠原良美議員

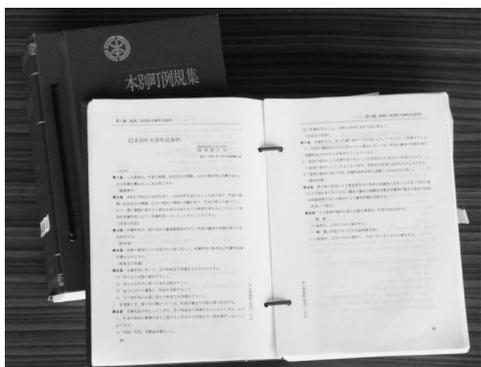
小笠原議員 ①平成15年12月定例会で、名誉町民条例第5条では年金を支給する、第6条では本人死亡時に町葬を行うとなつていますが、町の財政状況が厳しくなつてきていることやご家族やご遺族の後々の負担が大きいと聞くことから、称号や記念品を贈る程度にとどめるよう条例の見直しを求め質問しました。

答 弁では、一度検討することとしたが、どのような検討がなされたのか伺います。
②名誉町民審査会規則第3条に、委員は7名で組織し、町議会議長、副議長及び議員のうちから町長が委嘱するとありますが、この規則は見直

しが必要では。

高橋町長 ①ご家族、ご遺族の負担にならないよう考慮しながら、ご功績のあつた方に尊敬と敬意の念を表す新しい名誉町民条例の制定に向けて、早急に方向性を示し結論を出せるよう努力します。

②議員定数が12名となった現在、7名が審査委員であればその場で決まってしまうので、そこは見直します。



名誉町民条例記載の町例規集

状況によっては基金の運用を柔軟に

答 地方交付税の状況によって配慮します



高橋利勝議員

高橋議員 国は地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、実質的に平成23年度地方財政計画の水準を下回らないように確保するとしています。東日本大震災からの復旧・復興という緊急課題を抱えており、財源の見通しが不透明な状況にあることから、基金の運用を柔軟に考えていくべきだと思います。

また、人件費、扶助費、公債費は4%減となっておりますが、今以上の削減は職員や町民に大きな影響を与えるのでは。

高橋町長 地方交付税の状況によつて予算調整をいたしますが、厳しいときこそ町の元気のために財政出動をする、



浦幌坂から望む本別町市街地

そのための基金であると思つていきます。安全、安心の景観の持てる町の予算づくりをいたします。

また、義務的経費の4%減はいずれも前年度比で人件費は0.3%の減、扶助費は0.8%の増、公債費は償還額が減少していることから12%の減ですが、これ以上の歳出削減は厳しいと考えています。



経 済

道の駅の周辺整備と設備の充実について

【答】 駐車場は現状のままで十分と考えています。冷房化は、企業努力で



大住啓一議員

大住議員 道の駅横に農産物加工施設が建設され、平成24年4月にオープンとの予定ですが、両施設を利用する人たちの駐車と、道の駅建物内の冷房設備を充実させるべきだと思います。

道の駅は、旧本別駅を活用し継続して利用されています。新しく建設した農産物加工施設を利用する方々は、現在ある駐車場を利用するものと思えます。現在、使われている駐車場の活用方法と旧本別駅前広場の道路を改修し、駐車場を広くして利便性を高めるべきだと思います。

また、道の駅では、夏の暑い期間、冷房設備がないなか

での営業となっております。あつてはならない食品の事故を防ぐためにも冷房設備（エアコン）の設置が必要だと思いますが考え方を伺います。

高橋町長 新しい施設の駐車場は、周辺にある既存の駐車場に約120台ほど駐車できるので十分可能であり、駅前広場は、現状の中で利用しませぬ。また、道の駅内部の冷房化は至難の業であり、部分部分の改善は町の商品ではありませんから、企業努力でやっていたら、大がかりな設備については、協議し検討していきます。



道の駅ステラ☆ほんべつ



暮 ら し

ごみのない美しいまちづくりを

【答】 民・官一体で不法投棄の撲滅のため監視・啓発活動を進めます



黒山久男議員

黒山議員 ①平成12年に制定された本別町ごみの散乱防止に関する条例について、町民、事業者等に対する意識啓発と環境美化の促進に関する施策をどのように進めてきたか。

②町民がポイ捨てごみを収集したときの対策は。
③十勝総合振興局が進めている「十勝不法投棄やめさせ隊」の本別町の取り組みについて伺います。

高橋町長 ①年3回の衛生組合だよりで不法投棄、ポイ捨てゼロの日の啓発を行っております。また、パトロールも定期的に巡回しています。
②集められたごみにつきま



不法投棄はやめよう

しては、住民課において無料で配布しております公共のごみ袋を利用していただいで、それぞれ集められたごみは委託業者が取りにまいります。
③平成21年から実施している事業で、本町では、5企業、事業所と個人を含めて140名が登録をしています。

国保病院の運営と今後の対応について

答 透析治療は昭和63年以來のノウハウを生かしより充実を



戸田 徹議員

戸田議員 ①4月以降、2名の医師不在により前年度と比べて収益の状況は。
②医師補充について、現況はどうか。

③足寄町国保病院に人工透析病棟の建設計画を発表した
が対応策の考え方は。

高橋町長 ①10月末の入院収益は2億5,535万5千円で1.5%の減、外来収益は2億8,043万3千円で2.8%の減、入院と外来を合わせた収益については前年度比で2.2%の減であります。

②メールや電話などの問合せは12件で、そのうち3名の医師と面談し、内科医1名と条件面で交渉中です。

③昭和63年開設以来、多くの患者さんと向き合う中で培ってきたノウハウや技術があり、さらに質の高い治療を行っていきます。足寄町が開設することは地元の選択ですが、本町の国保病院と異なる協定の経過や、それぞれの信頼関係の中で培ってきたものがあるため、今後もしっかりとしんしゃくした上で、さらに透析治療を充実させるよう努力していきます。

旧宮林署苗畑用地の活用について

答 来年度から多目的場としてイベントなどに利用します

大住議員 旧本別宮林署苗畑用地の活用は、第1回定例会での質疑応答で、平成23年度に緑地化を図り24年度から町民の皆さんに使っていただく内容でした。緑地化された土地の利用と将来の活用方法について伺います。

①緑地化された土地は、大きな面積の土地です。どのように利用するのか考え方は。

②大きな面積を有することから、維持管理に要する費用は相当な額になると想定されますが。

③将来に向けては、本町の拠点となる土地であり、また、緑地化も進んだことから森林管理署との協議や、町民の皆さんに説明するべきと思いますが。

高橋町長 ①来年度から多目的広場としてイベントやレクリエーションに利用し、中長期的活用方法を十分検討します。

②10日に1回か週1回から



有効活用が望まれている旧宮林署苗畑用地

いの草刈で一年間50万円程度となりませう。
③まちづくりには有効な土地なので必要に応じて町民の皆さんや関係団体と協議を図っていきます。



22床設備されている透析室

国民健康保険の運営のより改善を目指して

答 今後も検診に力を入れながら進めたい



阿保静夫議員

阿保議員 国民健康保険法第1条では社会保障の一部だとうたっています。

① 保険税の収納率アップと「納めやすいように」納期を本町は年3回から6回に増やし



住民課窓口

た経過がありますが、他自治体ではさらに回数を増やしている例もあります。検討する考え方は。

② 予防医療などの町民の日常的な健康保持が国保会計運営にも大きく影響しますが、町民の健康を守る上での今後の継続的あるいは新たな取り組みについて伺います。

高橋町長 ①特に季節で働いている方々の働く環境が厳しくもあり、回数を増やしても収納率のアップにつながるというのが現実で、現行の「年6回」で完納いただけるような体制を進めます。

② 検診率を上げるといふことが一番大事なことであり、今後も検診に力を入れながら健康管理センターだよりなどによって啓発を行って、受診しやすい環境づくりに努めていきます。

美里別へき地保育所の統合合意、今後は

答 送迎時は安全指導上から、保育士を同乗させます

阿保議員 美里別保育所の仙美里保育所への統合が合意されたとのことですが。

① 3年間、児童の送迎は現美里別保育所から仙美里保育所までの間とのことですが、送迎時の事故などリスクについて対応を伺います。

② また、時間調整の問題、特に帰りの迎えはどのように考えていますか。

③ 現在の通所児童が対象ということですが、3年後の対応はどうかについて伺います。

高橋町長 平成19年から保護者の皆さんや地域等も含めて十数回に渡って協議しました。①安全第一で、送迎時には子供たちの見守りと安全指導上から、保育士を同乗させることで今、進めております。

② 特に、美里別公民館前で降りるときの保護者のお迎えは、到着後30分程度は職員を配置し、対応するよう協議してまいります。

③ 3年後について今、言及すると、これまで積み上げてきた地域との信頼関係や議論の経過が無駄になるということにも成りかねませんので、ぜひご理解をいただきたい。



春からお友だちが増える仙美里保育所



てん菜連絡協議会とは

北海道でのみ作付けされているてん菜は、畑作経営安定化・輪作体系維持・地域経済振興など重要な作物ですが、近年高齢化等で作付面積が減少傾向にあります。このような中、てん菜の安定生産を図ることを目的として、道内に製糖工場のある3市5町で組織された協議会のことです。

農 業

TPPに対する考え方と農業の振興について

答 十勝を上げてTPPに反対しています
 静山研修センター等を活用した農業塾を考えています

大住議員 政府は11月、環太平洋連携協定（TPP）交渉参加を決めました。このことは、本町農業にとって大きな問題であることから、TPPに対する考え方と農業の振興について考え方を伺います。

① TPPで関税が撤廃され

た場合、十勝農業においては

② 農業振興については、ピ

近年の農家戸数の減少を考えたとき、一つの解決策として、担い手の育成があります。JAと協力することは無論、静山研修センター等の利用も考えられますが考え方は。

高橋町長 ①住民合意のないままのTPPへの参加は、絶対行わないこととの申し入れをしています。

② ピートの対策は関係する3市5町で、てん菜連絡協議会を立ち上げました。静山研修センター等を活用し、徐々に農業塾を開いていきたいと考えています。

TPP参加反対の運動を「オール本別」で

答 強烈な取組みで、この町からのろしを上げていきたい

阿保議員 11月11日、野田首相はTPP協議について関係国との『事前協議』の開始を表明しました。

今までの「農業・食料」対「国民」という内容から、医療・福祉・保険・雇用など、国民生活全般にかかわる問題だとの報道内容に、11月11日を境に変化したようにも感じられていますが、これまでに積み上げてきたオール北海道、オール十勝の運動に加え、『オール本別』の運動が今後は必要ではないかと考えます。

学習的、または決起集会的な講演会の開催など、多様な取り組みも必要ではないかと考えますが見解を伺います。

高橋町長 各界・各層の問題点を持ち寄り、学習会的なことで、地域の集まりなど強烈な取り組みをしたいと考えます。

TPPで一番影響を受けるのは本別であり、一番先に地域が崩壊してしまいます。この町からそういうのろしを上



TPP参加反対集会（十勝）

げ、本別ならではの運動・活動をしつかりとつくっていきたいと思います。

このほか阿保議員は、「来年度の予算編成方針について」質問しました。



大きな影響を受けると懸念される北海道糖業



産 業

専任職員配置の考え方は

【答】 過去に経験ある方を考えています

高橋議員 本別町農産物加工施設は今年の4月のオープンを迎え、管理運営検討委員会が設置され、管理運営について協議が始まっていますが、考え方を伺います。

① 農産物加工施設を運営するにあたっての考え方は。

② 専任職員を配置するとしていますが、考え方は。

③ 農業大学校との連携、また他の大学、他の施設との連携の考え方は。

高橋町長 ① 農産物加工施設は、現在進められている農商工連携、さらに農業の6次産業化に向けた取り組みの拠点施設として重要と考えています。

また、シカ肉の加工についての声もありますが、現状としては困難な状況にあります。

② 専任職員の配置につきましては、過去に経験のある方

で、積極的にかかわっていただけの方を検討しています。

③ 農業大学校との連携については、それぞれ課題に応じた支援や協力をいただきたいと思います。

また、他の大学、他の施設とも連携していきます。



4月オープンの農産物加工施設



教 育

学校林・カラマツ材の利活用について

【答】 給食センターでの利活用を研究、検討します

小笠原議員 町内4校の学校林は植林後約50年が経過していると思いますが、このカラマツ材をどのようにに利活用する考えかを伺います。

① 本別中央小学校林の立木調査を行ったと聞きます

が、調査の目的と内容は。

② 平成25年度建設予定の本別町学校給食センターに、50年前に先輩が植えたカラマツ材を利用すべきと思いますが考え方は。

中野教育長 ① 一般的には30年以上が伐期齢とされており、いづれも50年以上経過しています。今後、伐採等を含めて学校林の保有管理などを考えるために本数、太さを調査しました。その結果、



植林後50年の学校林

13.76ヘクタールに約5千本のカラマツがあり直径30センチメートル前後が半分程度です。

② 学校関連の施設に学校林の木材を使用することは大切なことと思いますが、調理場での使用は難しいと思います。外壁、その他の部分についての利活用を研究し、検討していきます。

意見書

第4回定例会では3件の意見書が提出され原案可決されました。可決された意見書については内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。意見書の要旨、発言内容は次のとおりです。

【要旨掲載】

TPP協定交渉参加に向けた「関係国との協議開始」に関する要望意見書

TPP協定が地方の産業と国民生活に及ぼす影響などについての十分な情報提供と、あわせて国民的な議論を行うとともに引き続き、道民・国民合意のないまま、関税撤廃を原則とするTPP協定には参加しないことを重ねて強く要望します。

提出者 黒山久男



後期高齢者医療保険料の値上げを行わないことを求める意見書

北海道後期高齢者医療広域連合は平成24、25年度の新たな保険料を試算し約4,200円の値上げになるとしています。新しい保険料の設定にあたっては、高齢者に負担を押し付けることのないよう、十分財政措置を講ずるよう要望します。

提出者 阿保静夫



森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

森林整備を着実に推進し森林の多目的機能を持続的に発揮するとともに、林業の安定的発展と山村の活性化を図っていくためには、「森林・林業再生プラン」に基づき森林・林業の再生を図るとともに、東日本震災の速やかな復興に向けて再生の加速を求めます。



提出者 高橋利勝

行政報告

第4回定例会において、町長から行政報告がありました。(抜粋)

新年度予算編成方針について

予算編成に大きな影響を与える地方交付税は、国の逼迫した財政状況並びに国勢調査による人口減の影響などから前年度に対し4.8%減で見込み、また、基金からの繰り入れについても、引き続き依存度を下げ、引き続き目標にし、一般会計の予算規模は、前年度並みの63億円程度を見込んでいます。

美里別へき地保育所の統合

近年、子どもを取り巻く環境の変化や急激に進む少子化により、入所者数が平成26年度には1名へと、推移すると見込まれています。幼児数が少ない中では保



統合が決まった美里別保育所

育所として十分な保育機能を発揮することが難しいことから、平成19年2月より仙美里へき地保育所への統合も視野に入れるなど保護者の皆様と慎重に協議を進めてきたところであります。

さらにはこの間、仙美里へき地保育所での交流保育や春の運動会、秋のお遊戯会などの行事も合同で実施してきました。保護者の会や関係者の皆様との協議を十数回重ね、平成24年4月から仙美里へき地保育所へ統合することにご理解をいただいたところであります。統合後は、美里別へき地保育所から仙美里へき地保育所までの区間を、現在通所している子どもたちが退所するまでの3年間、町が送迎し、足の確保と保護者の負担軽減を図っていきたくと考えています。

開町110年・姉妹提携20周年記念姉妹都市オーストラリア・ミッチェル市答礼訪問・町民ツアー

11月10日、团长砂原副町長、副团长林副議長、他総勢11名でミッチェル市を訪問し、ワンドン森林火災記念公園にてユーカーリの木の記念植樹等を行いました。この記念公園建設に、本町民の皆様などから寄せられた義援金が活用されており、ミッチェル市から感謝の意が表されました。

植樹の後、歓迎式典が行われ、ミッチェル市長などの歓迎のあいさつの後、砂原团长が本別町長からのメッセージを披露し、町からの記念品を贈呈しました。式典終了後にはお互いの文化交流も図ってきました。今回の訪問が両町の絆をさらに強くし、なお一層友情が深まったことを確信してきました。



ミッチェル市答礼訪問団

行政視察研修

総務

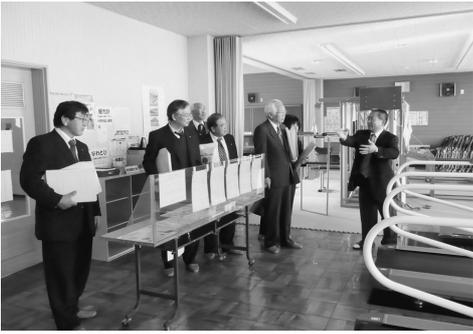
常任委員会

○体育施設の運営

調査日／平成23年10月18日
(標津町)

標津町は昭和63年に「スポーツの町宣言」を行なつて以降、体育施設の充実を図り、子どもから高齢者までスポーツを熱心に取り組んでいます。

1つの総合体育館と5つの地域体育館の他、町営の野球場、プール、テニスコート、スケートリンクなどがあり、体育館は大人の大会



標津町総合体育館での説明

会の利用は有料ですが、その他はすべて無料で、地域体育館は地域の自主管理で運営しています。

また、町営パークゴルフ場は利用料、4地域パークゴルフ場(愛好会の管理)は「協力金」として1回200円、スキー場はリフト券などで有料となつています。各施設の町民の利用は活発と思われま

○国民健康保険の運営

調査日／平成23年10月19日
(津別町)

津別町の平成21年度の1人当りの国保税は、81,020円です。(本別町106,847円)

税率は平成21年度に見直しを行ない、医療分の限度額は9万円減の47万円となりました。

また、基金を2,246万円積み増し、基金残高は1億7,647万円となりました。これらのことから平成23年の税率改正は行わないとしました。

国保会計全体で特に目立つのは、基金等繰入金で、

津別町は6,000万円、本別町が4,430万円と大きな差があります。

運営の特徴としては、国保税の収納率で、津別町は98%(本別町95%)と高く、ほぼ2年毎に税率見直しの検討や国保事業計画書にあるレセプト点検の強化等5点の重点項目の推進など、日頃の努力の成果が結びついたものと理解できました。



津別町で研修

産業界

常任委員会

○農地交換分合の取り組み

調査日／平成23年10月24日
(土幌町)

農用地が分散していて移動時間がかかるなど、農業効率の悪いものを集団化し、広く使いやすい農地にまとめる事業です。一定条



土幌町で研修

件を満たせば、補助金及び税制措置も受けられます。

土幌町では、町内を8地区に分けながら昭和33年から現在まで33回の交換分合(集団化)を行ってきました。集団化率も毎回40%前後完了しており、全国的にみても先進的な取り組みがされています。

まとめ

土幌農協、役場並びに農業委員会などが農業対策本部を組織し、交換分合による農地集積に取り組んできました。また、コスト面を考えた場合、土幌町は地籍調査も終了していることが進んだ条件の一つであると考えられます。

本町においても、まず農業団体が交換分合によるメリットを考え一歩でも前に

出る事が必要ではないでしょうか。

○農産物加工施設の運営

調査日／平成23年10月25日
(沼田町)

昭和57年3月農産物の加工を始め、現在はトマトジュース、山菜の加工、惣菜缶詰の生産、ドリンクの生産、レトルト商品の開発をし8,840万円の売り上げ実績を上げています。

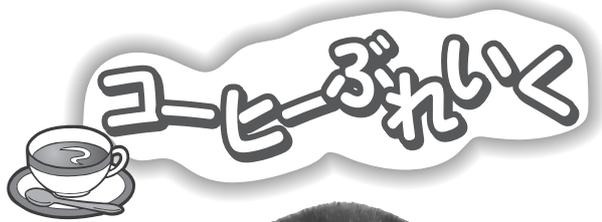
まとめ

従業員25名の雇用を生み出していることに注目すべき。

このほか10月25日に、利別川左岸地区(勇足地区)で計画されている排水機場について雨竜町を研修してきました。



沼田町農産物加工施設



新町
鈴木義治さん

町民の間で町政を 語られることが大切では

奥様が店を開いてからは（マーケット通り・カフェいち）傍聴に来る機会がとれず、5、6年ぶりに傍聴に来られた新町の鈴木義治さんに聞きました。

今回、傍聴に来られたきっかけは「一般質問の発言が固定化していることから、議員定数をもっと削減してもよいのでは」という声があります。が、私もTPP問題など町政を取り巻く課題が多いにもかかわらず、議員からの発言が少ないということには疑問を持っています。

国政が混乱する中では地方からの意見に期待する人もいます。私もいろいろと考えることがあり傍聴に行ってみよう

うということでも来てみました。そこで傍聴に来てみての感想を聞いてみました。

「全体的に声が聞きづらく音響の改善が必要だと思えます。」

また、町長の答弁が長いのでわかりづらかったです。議員につきましては、質問されている方がいろいろと勉強されていることがわかりました。ただ、議員の方が質問した結果がどうなったか町民に見えないのは残念です。」

町政に関心があり年4回発行の議会だよりを必ず読んでいます鈴木さん。

もっと、町民の間で町政を語られることが大切ではとのことでした。

議会日誌

〔 11 月 〕

- 15日～17日 全国議長会（東京）
- 25日 平成23年第3回一部事務組合議会（定例会）（帯広市）



〔 12 月 〕

- 1日 議会運営委員会、議員協議会
- 2日 十勝町村議会議長会定例会
- 5日 第4回定例会開会、議員協議会、産業厚生常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 13日 本会議（一般質問）、総務常任委員会
- 14日 本会議（議案審議）、議員協議会、議員会役員会、議会広報特別委員会
- 19日 芽室町議会議員研修会第1回参加（芽室町）
- 27日 第2回池北三町行政事務組合議会定例会（足寄町）



〔 1 月 〕

- 6日 議会広報特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 13日 議会広報特別委員会
- 19日 議会広報特別委員会
- 24日 芽室町議会議員研修会第2回参加（芽室町）
- 26日 総務常任委員会所管事務調査
- 26日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 27日～30日 南三陸町福興市派遣



**3月定例会は6日から
ナイター議会は13日に
予定しています**

私たちの住むまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

編集後記

▼2012年、穏やかな新年を迎え、日々穏やかに過ごせることこそ幸福と改めて感じる今日この頃です▼

昨年は予測を超える大きな災害により多くの尊い生命や財産、仕事が一瞬にして奪われてしまいました。今なおままならない生活を強いられることを思うと心が痛みます。一日も早く復旧、復興することを願わずにはいられません▼広報委員会では、年4回の定例会を終了後に「議会だより」を発行しています。一般質問や審議内容等をわかり易くお伝えするよう心掛けています。が予算の関係でページ数が減り、紙面作りに苦慮することもあります。今後、より多くの皆さまに読んでいただける「議会だより」作りを心掛けていきます。

- 委員長 小笠原良美
副委員長 大住 啓一
委員 高橋 利勝
委員 方川 英一
委員 山西 三夫

